

会場：柏崎原子力広報センター 2F 研修室

出席委員：新野・今井・川口・佐藤・高橋・武本・渡辺(丈)・渡辺(五)

事務局：布施課長・名塚係長・押見事務局長・木村

### 次回情報誌について

#### ➤ みんなの広場について

- ・ 意見がかたよってしまうので、掲載しないほうがいいのでは。
- ・ 投書のバランスがうまくないので、やめたほうがいい。
- ・ 今年度はこれが最後となるので、最後締めくくるように、最後まで掲載したほうがいい。
- ・ やめるような、これといった理由もないし、やめるとしても年度変わりで区切りをつけたほうがいいのではないか。
- ・ 視点を手にとって、やはり目がいくのはみんなの広場の投稿だと思う。投書の意見のバランスをとるのは難しいと思うが、この部分は、みんなに見てもらいたいということで始めているので、今やめるのはどうかと思う。
- ・ 次年度からもう少し考えてもらうということで、バランスをとるのは難しいと思うし、今回突然やめるということは避けたらどうか。
- ・ どうしたら読んでもらえるかということで始めたわけで、年度途中でやめるというのも、ちょっと考えたほうがいいのではない。
- ・ もし、紙面に掲載されているものに対しての意見があるなら、そういう意見を載せればいいだけのことではないのか。

#### 決定事項

- ・ 課題は課題として、次年度に残すが、今回は掲載する。
- ・ 担当：川口委員・今井委員（ㄨ切24日(木)ということで知人に依頼してもらう。）

#### ➤ 編集後記について

##### 決定事項

- ・ 渡辺(五)委員に依頼（ㄨ切24日(木)）

#### ➤ 表紙写真について

- ・ 視察もなくなったので、定例会の写真でもしょうがないのではないか。
- ・ これといったものがなければ、何か2枚組み合わせるとかでもいいのでは。
- ・ ここ3ヶ月のものに限定しなくてもいいのではないか。
- ・ 年度の締めくくりでもあるので、今までのなかで、掲載していないものを使ったらどうか。

#### 決定事項

- ・ これまで活動してきた写真のなかで、いいものを選んで掲載。

#### ➤ 本文について

- ・ 中身については各会分けて掲載したほうがいいのではないか。
- ・ 21回の総括について、どういうふうにまとめたらいいのか。
- ・ 県や市の行政の総括は載せてもらったほうがいい。
- ・ 委員一人一人の意見はスペースの問題もあるので、載せなくていいと思う。
- ・ 9号の視点では、減肉について対策不要という掲載があって、今回22回の定例会で初めて減肉を認めた経過があるので、そのことについて間違っていたという内容を載せてもらいたい。
- ・ 以前、東電が言ったことが間違いだったということの、掲載があったほうがいい。
- ・ 今後も会として、監視していきたい旨の内容も載せたらどうか。

#### キーワード解説

- ・ 減肉についてを掲載。

#### 会のあり方の検討

- ・ 意見の羅列ではなく、まとめたものを掲載。
- ・ 話し合われた流れもわかるようにまとめる。

#### 本文

- ・ 定例会ごとにまとめて掲載。

#### ➤ 4月定例会について

- ・ 県は防災局長が出席。(副危機管理監)

#### 日程

- ・ 4月12日(火)

#### 打ち上げ

- ・ 任期最後なので、送別会又は懇親会はどうするか。
- ・ 懇親会みたいなものをするすれば、市民プラザのほうがいいのでは。
- ・ 懇親会の日を別にしたほうがいいのか。
- ・ 送別会とかではなく任期最後でもあるので、打ち上げということで、会終了後メンバーで集まったらどうか。事務局も交えて。オブザーバーも呼んだらどうか。

#### 内容

- ・ 会の内容としては、委員合意の大まとめを会長がした後、オブザーバーからひと言もらう。
- ・ 大まとめとしては、次のような感じでどうか。

地域の会は、平成14年8月に発覚した東電のデータ改ざん問題を契機に発足。推進・反対・地域等、いろいろな立場の24名の委員が選ばれ、年に4、5回の開催予定でスタート。当初から全号機稼働停止という御堂の次期と重なり、立場や考えを越えて皆が安全と安心を求めて熱い議論をたたかわせてきた。

その後も予想外の事態が続き、振り返れば月1回のペースでの定例会開催という大変ハードで重い責務の会となった。この会は権限は持たないが、様々な立場の意見や要望を自由に発信できることこそが重要。それを受け手の立場から前向きに捉えていただき活用していただければと考えている。

まだまだ会としては課題は山積みだが、後戻りすることはできない。緊張関係を保ち、今までにない新たな関わりの会として、地域の安全安心の町づくりのため、会の運営に努めていきます。

- ・ 付け足しで、今までにも増して、事業者又は行政側の立場というのを踏まえてやってほしい。というような内容のことを言ってもらいたい。
- ・ 受けて・・・という部分をぼかさずに、事業者と行政の立場というふうに言ってもいいのではないか。
- ・ この会ができる前と後では、企業にしる国にしる、何か少しずつ変わろうとする意志が伝わってはきているが、まだまだ不足の部分は多々あると思うので、これからも努力は続けてほしい・・・というのを締めにしてもいいか。
- ・ 防災局長には、最後の総括をしてもらったらどうか。
- ・ 市長には、会の2年間を勉強してもらって、どう感じていて次にはどういう変革を望んでいるのかを聞いたらどうか。
- ・ 市長と所長をメインに話しを聞く。保安院や地域担当官は今回はいいのではないか。
- ・ まず、委員から質問を投げかけてから、挨拶をかねて述べてもらったらどうか。
- ・ 大丈夫だと言いながら、こういう事態になっていることを考えてもらいたい・・・というようなことは言ってもいいと思う。
- ・ 東電の所長は、もっと早く地域の会に顔を出してくれるものと思っていた。会としては、

これまでエネルギーを使ってやってきたわけで、それを黙って見ているのではなく、顔を出すくらいのはしてほしかった。

- ・ 武黒所長から、どういう風に地域の会のことを引き継いで、どういう認識をしたのか。これをストレートに聞いたらどうか。
- ・ 行政の動きはなんなのかなと思う。新潟県は7億か8億、原発からお金をもらっていると思うが、柏崎の原発のために、1億も使われていないと思っている。それをそっくり柏崎刈羽の原発の安全と安心のためにつぎ込むとか、又は、市独自の専門委員を置くとかの動きを行政のほうが一歩進んでやってもらう必要性を常々考える。地域の会も大切だが、永遠に、この権限のない会をやっていかなければならないのか疑問を感じている。誰に言えばよいのか、誰が責任をとるのかわからない。ゆえに、そういうことを行政側でやってほしいと思っている。
- ・ 東電ばかりでなく、行政にも目を向けていく必要があるのでは。
- ・ 国の組織に対するようなものを、県や市を含めてやれないか聞いてみるのもいいのでは。
- ・ 西山さんには総括をしてもらえばいいのでは。

#### 決定事項

- ・ 4月12日(火)6時半から8時半をめぐり。市民プラザ風の部屋( . . . )
- ・ 会終了後、委員・事務局で、打ち上げを行う。(オブザーバーも含)
- ・ 何を聞いてみたいのか、再度まとめる。

・